議案審議

（議案審議は1面・4面にも掲載）

新たに19路線を市道認定

市道の認定について
市道の変更について

▼**要　旨**

市道認定の基準にのっとり、道路境界が明確になっていること、道路用地が秦野市名義になっていること、道路幅員が4・0㍍以上確保されていること、本市の道路整備計画等により新設または改良する道路であることなどの要件により、19路線を市道に新規認定し、7路線を市道の起点または終点の変更を認定するもの。

▼**付託委員会**

都市建設常任委員会

▼**委員会での主な質疑**

問　市道1803号線は、新たに道路改良を行い、架け替えられる田頭橋に接続するとのことだが、市道881号線を拡幅した方が、費用が抑えられるのではないか。

答　市道881号線は、幅員が狭く、西側には住宅が1軒あり、崖地になっている。道路拡幅の改良工事を行うには、住宅の移転補償費や、崖地に大きな構造物を造るための事業費に多額の費用が必要になる。一方、市道1803号線は、土地は国から譲与されるため、用地買収費が発生せず、平地であり事業費も抑えられるため、市道1803号線を延伸することとした。

問　市道626号線の周辺区域は、市営住宅の跡地であり、普通財産になってから4年以上が経過している。市道の起点を変更し、道路の一部を廃止することで、さらに広い土地が生まれるが、市道の変更は、市営住宅の跡地に新たな計画や構想ができたことによるものなのか。

答　現時点では、これらの土地をどのように生かしていくかは決まっていないが、土地を大きな区画に再編することにより、付加価値が高まるため、道路の一部廃止や起点変更をするもの。

▼**議決結果**

委員会　原案可決（賛成全員）
本会議　原案可決（賛成全員）

市道1803号線の現地調査

人権擁護委員に沼田氏・石岡氏を推薦

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

▼**要　旨**

沼田良雄委員および石岡正行委員の任期が平成25年9月30日に満了することに伴い、沼田良雄委員および石岡委員を再び推薦するもの。

沼田氏は、昭和21年生まれ。平成19年から現職。
石岡氏は、昭和23年生まれ。平成22年から現職。

▼**議決結果**

本会議　適当である旨答申

消防署大根分署の消防ポンプ自動車を更新

動産の取得について

▼**要　旨**

消防署大根分署に配置された消防ポンプ自動車の老朽化に伴い、更新車両を購入するため、売買契約を締結するもの。なお、契約金額は2845万5000円。

▼**主な質疑**

問　買い替えの基準はどのようか。

答　使用年数として、13年を一つの基準とし、実際の車両の使用状況などを確認し、総合的に判断して決定している。

老朽化に伴い更新される消防ポンプ自動車

▼**議決結果**

本会議　原案可決（賛成全員）

教育委員会委員に内田氏を再任

秦野市教育委員会の委員の選任について

▼**要　旨**

内田賢司委員の任期が平成25年8月31日に満了することに伴い、同委員を再び選任するもの。

内田氏は、昭和26年生まれ。平成23年から現職。

▼**議決結果**

本会議　同　意（賛成多数）

議会のうごき

○5月
16日（木）・代表者会議　・議員連絡会
　　・議会活性化特別委員会　【傍聴者1人】

○6月
4日（火）・議会運営委員会
7日（金）・市議会第2回定例会開会　【傍聴者なし】・代表者会議
11日（火）・本会議（議案審議）　【傍聴者1人】・議会運営委員会
12日（水）・本会議（一般質問）　【傍聴者21人】
13日（木）・本会議（一般質問）　【傍聴者37人】
14日（金）・本会議（一般質問）　【傍聴者4人】・代表者会議
17日（月）・総務常任委員会　【傍聴者なし】
18日（火）・文教福祉常任委員会　【傍聴者なし・現地調査】
19日（水）・環境産業常任委員会　【傍聴者1人】
20日（木）・都市建設常任委員会　【傍聴者なし・現地調査】
24日（月）・議会活性化特別委員会　【傍聴者1人】
27日（木）・議会運営委員会　【傍聴者1人】
　　・市議会第2回定例会閉会　【傍聴者6人】
　　・代表者会議　・議会運営委員会　・議会報編集委員会

○7月
8日（月）・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第2回定例会
16日（火）・代表者会議　・議員連絡会　・議会活性化特別委員会

○8月
2日（金）・議会報編集委員会

陳情・意見書

6月定例会では、2件の陳情について審査を行いました。
また、意見書提出についての議案2件が議員から提出され、原案のとおり可決しました。
（陳情・意見書の全文掲載は紙面の都合上、省略しています。ホームページでは全文をご覧いただけます。）

最低賃金の改定は生活保護との整合性を

平25陳情第6号　神奈川県最低賃金改定等についての陳情

▼**願　意**

神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行い、地域別最低賃金の改定にあたっては、生活保護との整合性を図る観点から、生活保護との乖離解消を平成25年度に実現すること。また、特定最低賃金の改定にあたっては、最低賃金法が定める役割などが果たされるよう、その趣旨および内容の周知徹底を強化することについて、国に意見書を提出してほしい。

▼**付託委員会**

環境産業常任委員会

▼**委員会での主な質疑・意見**

問　年収200万以下で働くワーキングプアが増えてきているが、過去の最低賃金の改定状況はどのようか。

答　平成元年の消費税導入時には、1時間当たり520円だった最低賃金は、相次ぐ企業倒産やリーマンショックなどによる経済変動があった中でも上昇傾向にあり、24年の最低賃金は、849円である。

問　生活保護との乖離額の推移はどのようか。

答　平成20年は、89円であったが、それ以降、年平均で約21円減少し、24年は5円である。

意見　最低賃金法では、生活保護に係る施策との整合性に配慮するものと定められており、年収200万円以下で働く若者などが、近い将来、生活保護に頼らない状況をつくるためにも最低賃金の引き上げを行うべきである。

意見　最低賃金は、平成元年から一貫して上昇傾向にあり、企業などが対応できない可能性があるため、現状維持とすべきである。

▼**議決結果**

委員会　採　択（賛成多数）
本会議　採　択（賛成多数）

＊　＊　＊

少人数学級の推進を

平25陳情第7号　子供たちに豊かな学びを保障するために、少人数学級の推進などによる定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める陳情

▼**願　意**

子ども、保護者のニーズに応じたきめ細かな教育を実現し、豊かな教育環境を整備するため、少人数学級の推進等による定数改善や教育予算の増額などについて、国に意見書を提出してほしい。

▼**議決結果**

本会議　採　択（賛成全員）

＊　＊　＊

議提議案第7号　少人数学級の推進などによる定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について

▼**要　旨**

子どもたちに豊かな学びを保障するとともに教育を取り巻く環境のさらなる充実を図るため、少人数学級の推進などによる定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度2分の1復元について、国に意見書を提出するもの。

▼**議決結果**

本会議　原案可決（賛成多数）

議提議案第8号　最低賃金制度の充実に関する意見書の提出について

▼**要　旨**

労働者を取り巻く情勢が依然厳しい状況下、低賃金層が増大しているため、神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に実施し、生活保護との乖離を解消することなどについて、国に意見書を提出するもの。

▼**議決結果**

本会議　原案可決（賛成多数）

継続審査となった陳情

▼**議会運営委員会**

平25陳情第8号　請願に必要な紹介議員の数を1人以上とするよう求める陳情

少人数学級の授業風景

請願・陳情の提出について

平成25年9月定例会での請願・陳情は、開会日から3日目の9月6日（金）午後5時までに提出されたものが対象となります。

書式例などは、秦野市議会ホームページに掲載しています。なお、提出の際は、事前に議会事務局（82－9652）までご連絡お願いします。

議会用語解説　**継続審査**…付託された委員会の審査が会期中に終了しない議案などについて、議会の議決により閉会中に審査を継続すること。